

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21192
課題名	道北地区におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌およびメチシリン感受性黄色ブドウ球菌の分子疫学的解析
研究期間	研究機関の長の実施許可日～2026/12/31
研究の対象	2022年4月～2023年3月に当院の外来受診または入院した患者さんで、薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)またはメチシリン感受性黄色ブドウ球菌(MSSA)が検出された方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報(詳細:住所(市まで)、年齢、性別、診療科、病棟、診断名、検査結果、画像診断結果等)</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織(対象臓器等名:)</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p>■その他</p> <p>(微生物検査検体培養後の発育した黄色ブドウ球菌の菌株)</p>
研究の意義、目的	<p>薬剤耐性菌の蔓延とそれによる院内感染アウトブレイクの発生は、公衆衛生上の主要な問題の一つです。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)は1960年代以降世界中に分布が拡大し、今なお最も重要な薬剤耐性菌、院内感染起因菌として存続しています。わが国における病院感染起因菌としてのMRSA検出率は世界的に最も高いレベルにあり、米国、南欧諸国などともにMRSAの高汚染国と考えられています。</p> <p>MRSAを含む黄色ブドウ球菌の分子疫学的研究は、北海道では札幌を中心に行なわれてきましたが、旭川市(道北地区)における研究は一部の症例報告を除き僅かであり、北海道は広域であるため、地域間で異なる疫学的所見が得られる可能性も高いと考えられます。そこで本研究では、旭川市における当病院をベースとした研究により、旭川市におけるメチシリン感受性黄色ブドウ球菌(MSSA)、MRSAの分子遺伝学的性状を明らかにすることを目的としています。得られる情報は、今後の旭川市や道北地区における感染対策への基礎資料として大きく役立てられると考えられます。</p>
研究の方法	<p>臨床検査・輸血部で検出されたMSSAまたはMRSAを以下の検査にて評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤感受性試験 全菌株を対象に、薬にどの程度効果があるかを測定します。 2. MRSA/MSSAの同定 MRSAを規定する遺伝子、黄色ブドウ球菌に必要な遺伝子、黄色ブドウ球菌に特徴的な毒素を検出します。 3. 菌株の遺伝子型別 全菌株に対し複数のPCR、ダイレクトシークエンス法を用いて決定します。 4. 病原因子、薬剤耐性遺伝子および変異の検出 選択された菌株を対象として、黄色ブドウ球菌において知られる24種毒素遺

	<p>伝子、毒素性ショック症候群外毒素および表皮剥離毒素3種の遺伝子を多重/単一PCRにより検出します。薬剤分解酵素遺伝子等を多重/単一PCRにより検出します。</p> <p>5. 統計解析</p> <p>統計解析ソフトにより MRSA と MSSA に分け、道北地区における菌株の特徴（遺伝子型、薬剤感受性、病原因子の分布等）について解析します。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 0166-69-3364 研究責任者： 旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部 佐藤 多嘉之（薬理学講座 大学院生）</p>